

公益社団法人神奈川県鍼灸師会 平成29年度 定時総会 議事録

日時：平成29年5月28日（日）午後2時～3時

会場：公益社団法人神奈川県鍼灸師会事務所

司会：秦宗広 副会長兼総務部長

1. 開会の辞

窪田勤副会長により、開会を宣言された。

2. 会長挨拶

清水慎司会長より、挨拶が行われた。

3. 議長選出

会場より司会者一任の声があり、司会者より横浜市青葉区の日野博氏が指名された。

4. 定足数の確認、議事録署名人および書記の指名

議決権総数239名中、出席者数18名、委任状数124名、合計142名の出席となり、定款第18条に従い議決権総数の過半数以上の出席を確認したため、本定時総会の成立が報告された。次いで議事録署名人及び書記の指名があり、定款第19条に従い議事録署名人に日野博議長、清水慎司代表理事および森下元監事、書記に定成裕子事務局員が指名された。

5. 議事

関連のある第1号議案から第3号議案までを一括上程方式にて行った。

第1号議案 平成28年度事業報告

秦宗広副会長兼総務部長より、次第のとおり、各部の事業をまとめて報告された。

第2号議案 平成28年度決算報告

栗田康男財務部長より、別紙3「決算に関する資料」のとおり報告された。今期の収益差異は昨年度に続きマイナスであるが、今期の大きな目標であった経費削減の努力がされたこと、事業収入を中心に増収となったことなどが挙げられた。しかしながら活動が活発化したために、人件費が増大したことが今後の課題として提起された。今後の対策と検討課題として、収入に関しては新規会員獲得と会費単価や優遇制度の見直しが挙げられた。また経費削減に関しては報酬や人件費などの見直しが挙げられた。

第3号議案 平成28年度監査報告

森下元監事より、別紙4「平成28年度監査報告書」のとおり、すべてにおいて違反もなく、適正に執行されていたと報告された。

質疑応答

特になかった。

議案の採決

第1号議案から第3号議案までの採決を行い、賛成票が議決権総数の過半数以上に達したため、承認可決された。

第4号議案 平成29年度事業方針

清水慎司会長より平成29年度は、まずは会員の増強による財政の健全化が必要であること、他業種との連携、かながわ鍼灸マッサージ推進協議会と合同で共生マイスター制度を推進すること、地域在宅医療、オリンピック・パラリンピックを視野にいたしたスポーツ鍼灸への対応などを中心に会員で取り組んでいきたいなどの方針が示された。会員間の交流を図り

ながら動ける人材を確保することで、各部の負担も減らしたいとの方向性も示された。

質疑応答

特になかった。

議案の採決

賛成票が議決権総数の過半数以上に達したため、承認可決された。

第5号議案 平成29年度事業計画（案）

秦宗広総務部長より、別紙5「平成29年度事業計画」のとおり提案があった。

質疑応答

特になかった。

議案の採決

賛成票が議決権総数の過半数以上に達したため、承認可決された。

第6号議案 平成29年度予算（案）

栗田財務部長より、別紙6「平成29年度収支予算書」のとおり提案があった。平成29年度には、会員増加による収益増を目指すこと、収支の差が0円という健全な数字を目標にすることが提示された。

質疑応答

特になかった。

議案の採決

賛成票が議決権総数の過半数以上に達したため、承認可決された。

第7号議案 役員退任による選挙

草山真紀夫選挙管理委員長より、立候補者の服部政博氏が紹介された。立候補者は1名であり、定款第20条に規定されている定数を満たしているため選挙は行わず、定款第18条および第21条の規定に従い、立候補者の賛否を問い、出席者全員の賛成を得たため、服部政博氏が理事に選任されたことを宣言され、選任された服部政博理事から一言挨拶された。

6. 閉会の辞

千葉良仁相談役により、閉会を宣言された。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事、監事および議長は記名押印する。

平成29年5月28日

代表理事 印

監 事 印

議 長 印